

施設の目的

技術を持った起業家や研究者を誘致し、**グローバルでスケールを目指すスタートアップを輩出**

- 現状、ローカルビジネスやソーシャルビジネスの輩出が多いことへの課題感から、スタートアップの裾野を広げるよりも、**成長性の高いスタートアップを誘致し、ユニコーンに成長させる。**

ターゲット

「シード期からアーリー期」のスタートアップをメインターゲット

- シード期からアーリー期のスタートアップは本格的な成長に向けて様々な外部リソースを必要としているため、VCなどから制約を受けているミドル期と比べ、**山梨への定着の可能性が高い。**

コンセプト

「Innovation Studios for Startups」 = 期間ごとに特定テーマ領域にフォーカスする**「領域特化型イノベーションスタジオ」**

- 本県の特性や強みを活かせる水素・燃料電池、医療ヘルスケア、半導体、ロボット、ドローンなどの産業領域の中から**テーマ領域を絞り、一定期間並走して支援**することでユニコーン輩出を目指す。
- 支援リソースの開拓のしやすさ、過去のスタートアップ関連事業とのシナジーなどから、**開設当初のテーマ領域は、現在はヘルスケア、アグリテックを想定しているが、今後、詳細な領域検討を行っていく。**

主な機能

①コミュニティ形成機能

- コミュニティマネジャー(CM)を中心とするコミュニティ形成支援。様々な支援者やステークホルダーとの接点構築を創出

②事業展開を熟知したチームによる伴走支援

- シード・アーリー期の事業展開フェーズに精通したインキュベーションチームを組織し、事業構築のためのナレッジやハンズオン支援を提供

③領域に特化したメンターの招聘

- 領域に特化した支援人材を招聘してニーズに応じたメンタリングチームを組織し、専門性の高いイノベーションスタジオを展開

施設開設に向けた準備

開設までの約2年間、事前にコミュニティ形成のための事業を実施。

- 開設までの間に、スタートアップのコミュニティ形成やそのための戦略などを策定。

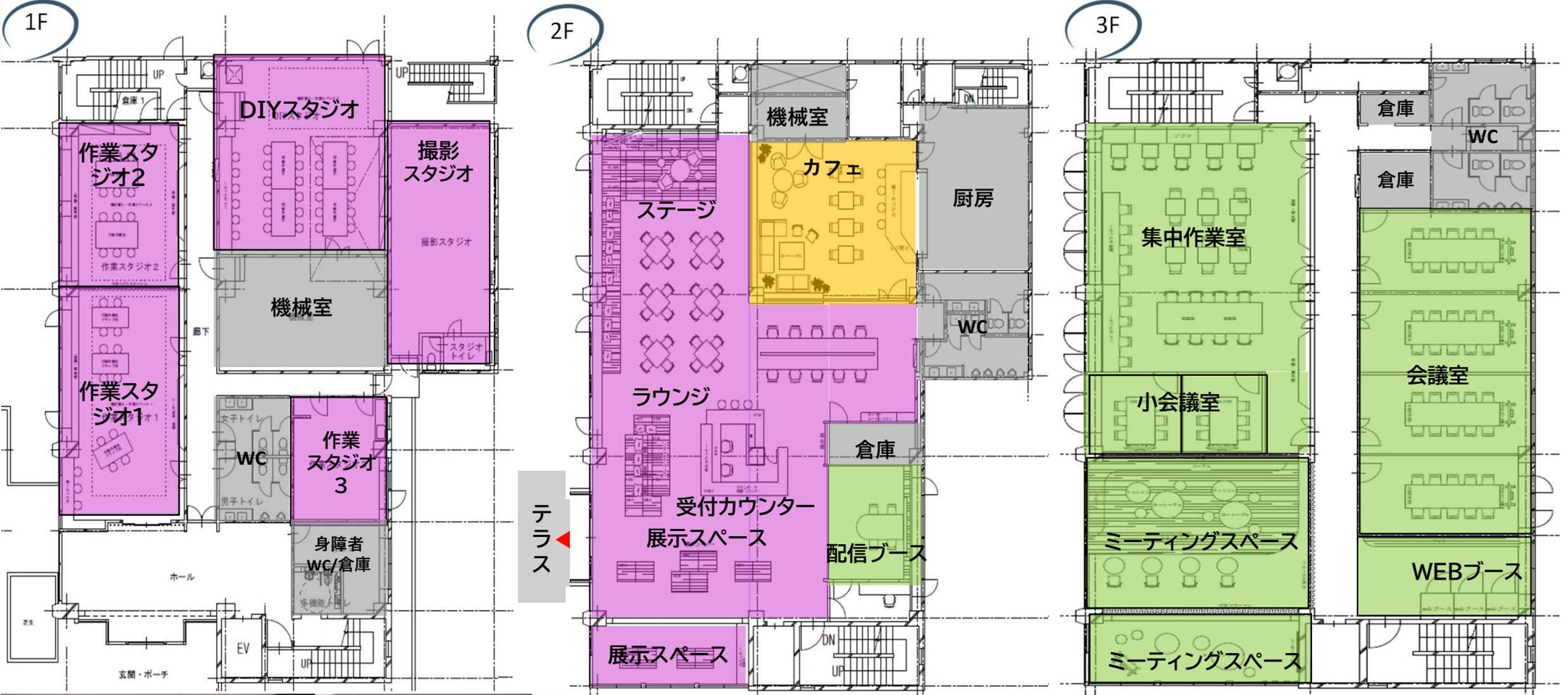
整備・運営

【工事費】 改修費 約11億円程度を見込む ※設備仮設工事費、備品・資器材の購入費用は含めない。

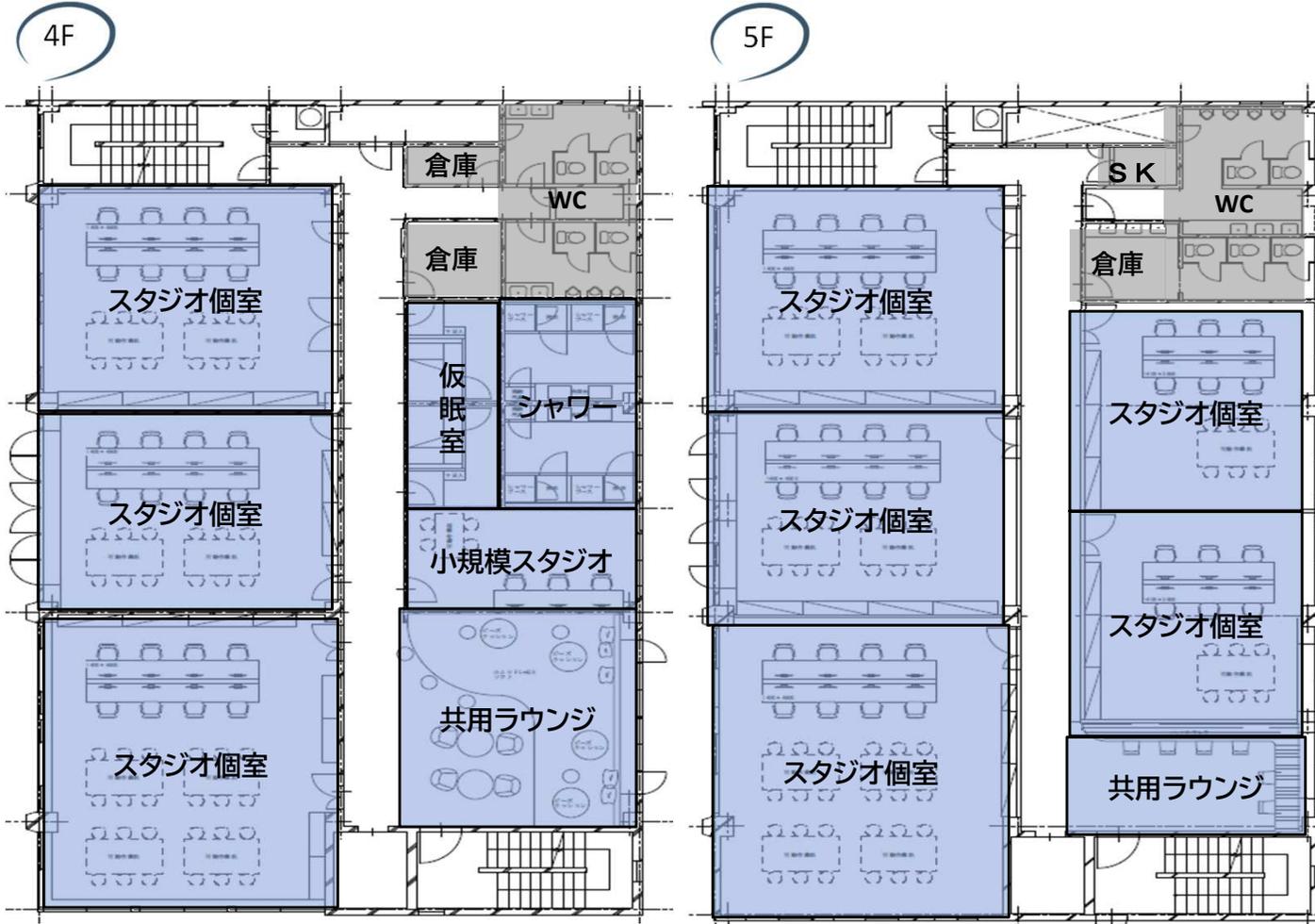
【運営体制】 運営スタッフ 15人

(総括マネジャー1、インキュベーションマネジャー2、インキュベーションアシスタント3、メンター5、コミュニティマネジャー1、スタッフ3)

スタートアップ支援拠点のレイアウト(1F~3F)

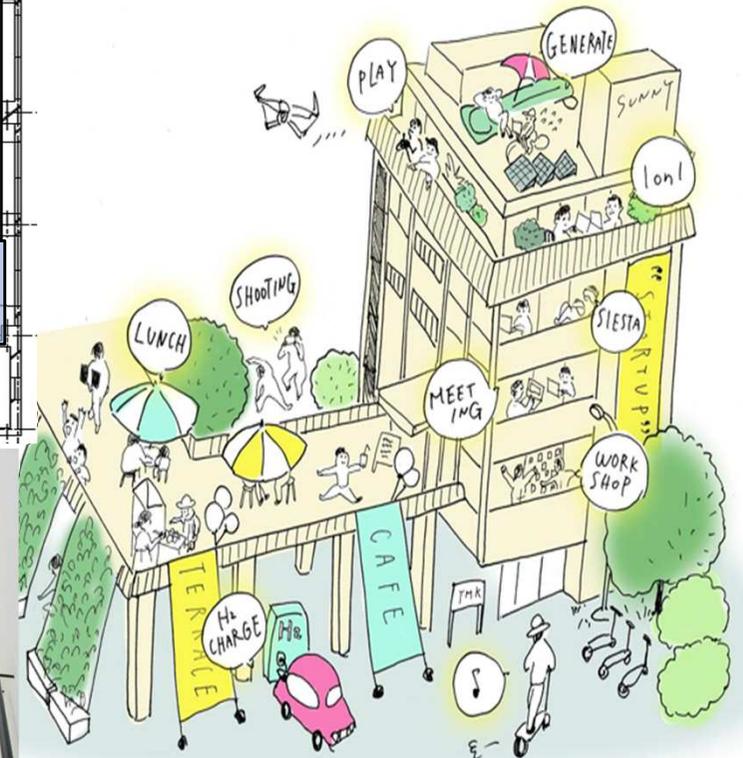


スタートアップ支援拠点のレイアウト(4~5F)



利用可能エリア

- 紫: スタジオ利用者、登録会員、一般 (ドロップイン)
- 黄: 制限無し
- 緑: スタジオ利用者、登録会員
- 青: スタジオ利用者



【スタジオ個室】

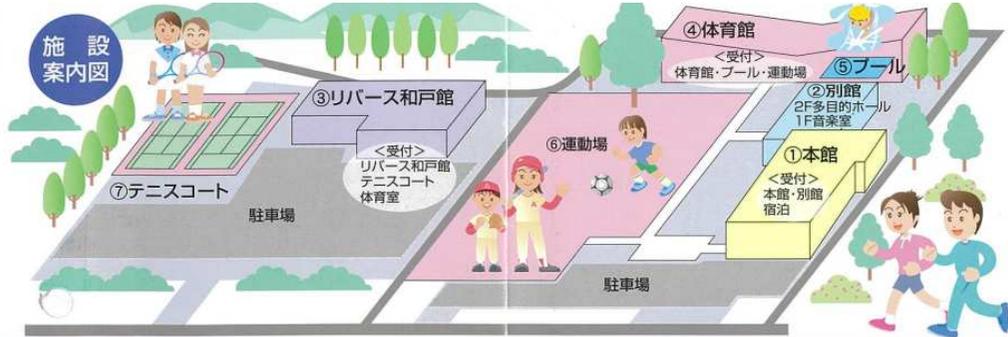


【共用部デザイン】



【共用部デザイン】





①本館 (エレベーターがあります。)



②別館



③リバース和戸館 (エレベーターはありません。)



体育施設

④体育館



バスケットボール
またはバレーボール
バドミントン、卓球
その他として
レクリエーション、ダンス等

⑤プール

室内温水 25m×15m 7コース
利用時間 午前9時～正午
午後1時～午後5時
午後6時～午後9時
小学4年生以上、水泳帽着用



⑥運動場



⑦テニスコート



◎今後の利用方針

- ①本館: スタートアップ支援拠点に改修
- ②別館: そのまま利用
- ③リバース和戸館: 本館として活用
- ④体育館: 改修しパラスポーツの拠点へ
- ⑤プール: 取り壊し
- ⑥運動場: 芝生広場にして利用
- ⑦テニスコート: そのまま利用



- ◎ 県内どの地域からも1時間圏内でアクセス可能な「甲府市川田町」に立地
- ◎ JR石和温泉駅から徒歩15分
- ◎ 無料駐車場 約280台
- ◎ 新山梨環状道路の新インターが近隣に開設されれば、アクセス向上